

# 小山市事務事業評価シート

令和元年度版

No. 17

<b>1. 基本情報</b>				
<1> 事業・業務名	男女共同参画フェア事業		<2> 事業・業務の別	事業
<3> 選定基準	⑤ その他		<4> 継続評価 新規評価の別	継続評価
<5> 総合計画基本計画での体系	大項目	3 明日に生きる 男女が協力・子育て支援・ひとづくり	<6> 担当部(局)	総務部
	中項目	3-3 とともに輝き明日を創る男女共同参画	<7> 担当所属	男女共同参画課
	小項目	3-3-1 男女共同参画社会	<8> 担当係等	男女共同参画係
	施策	男女共同参画意識の醸成		
<9> 根拠法令・計画等	男女共同参画社会基本法	<10> 関連・類似事業		
<11> 会計	一般	会計	<12> 予算科目	2 款 1 項 1 目
<13> 実施期間	年度 ~ 年度	<14> 全体事業費	千円	
<15> 実施手法	補助金・負担金・貸付金等		「その他」の場合 ( )	

## 2. Do - 実施 -

<16> 事業・業務の概要	市、実行委員会主催による男女共同参画フェアの実施						
目的	<17> 事業・業務の目的	男女共同参画の正しい理解の普及と意識の醸成を図る					
	<18> 事業・業務の対象	小山市民、小山市内事業者、定住自立圏連携市町関係者					
手段	<19> 平成30年度の活動内容	・外部講師による基調講演の実施 ・小山市ワーク・ライフ・バランス推進事業者認定証交付式及び取組発表 ・男女共同参画に関する標語・写真の募集と入賞作品の表彰及び応募作品の展示 ・ジェンダーチェックシートによる意識改善啓発 ・各種啓発資料配布 ・啓発パネルの掲示					
	<20> 活動指標 (活動した量や実績)	指標名	単位	平成29年度 計画 実績	平成30年度 計画 実績 達成率(%)		
	リーフレット配布枚数	枚	2,800 2,287	3,000 2,670	89.0%		
	参加者人数	人	200 350	200 300	150.0%		
成果	<21> 事業・業務の成果	・男女共同参画について正しく理解してもらう ・男女共同参画を身近なこと、必要なこととして捉え、日常生活の中で実践してもらう					
	<22> 成果指標 (活動の成果の量や実績)	指標名	単位	平成29年度 計画 実績	平成30年度 計画 実績 達成率(%)		
	講演の理解度	%	90 93	90 92	102.2%		
資源	<23> 投入指標 (投入するお金の量)	コスト実績	単位	平成29年度 計画 実績	平成30年度 計画 実績 投入率(%)		
			千円	3,006 2,972	2,959 2,924	98.8%	
		事業費等	千円	367 333	335 300	89.6%	
			財源内訳	国・県補助金	千円		
				地方債	千円		
		その他	千円				
		一般財源	千円	367 333	335 300	89.6%	
人件費	千円	2,639 2,639	2,624 2,624	100.0%			
正職員	千円 × 人役	7,195 × 0.3 7,195 × 0.3	7,146 × 0.3 7,146 × 0.3				
他の職員	千円 × 人役	2,400 × 0.2 2,400 × 0.2	2,400 × 0.2 2,400 × 0.2				

<b>3. Check - 評価 -</b>			
実績評価	妥当性	<24> 事務事業を実施する目的や対象は妥当か?	1.妥当である
		<25> 事務事業を実施する手段や実施手法は妥当か?	2.検討を要する
		<26> 事務事業の実施に対する市民ニーズはあるか?	4.市民ニーズによるものではない
	有効性	<27> 今後も市が実施する事務事業として妥当か?	1.妥当である
		<28> 事務事業の成果の向上の余地はあるか?	1.向上の余地はある
	効率性	<29> (総合計画基本計画)施策への貢献度は大きいのか?	2.中位
<30> 事務事業の効率の向上の余地はあるか?		1.向上の余地はある	
公平性	<31> 民間への外部化(民営化・業務委託等)は可能か?	2.検討は困難である	
	<32> 受益者負担の水準は妥当だと考えられるか?	3.負担導入は困難である	
<33> 総合評価 (事業全体の改善の余地)	2.改善の余地はある	理由	あらゆる世代の市民や事業者の意識や理解を効果的に深める事業を実施できるよう手段や内容等を毎年検討する必要があるため。

## 4. Action - 改善 -

事業の改善	<34> 事業の課題 事業の改善点 今後の方針	外部講師による講演は大勢の参加者に対して一度に意識の醸成を効果的に図ることが出来ると考えられるので、より多くの市民や事業者に参加してもらえらる内容を検討する。特に「女性活躍」や「ワーク・ライフ・バランス」「男性の家事・育児・介護参画」など、時代の流れにあったテーマを捉え啓発を継続していく。		
	<35> 1次評価	所属長	3.現状維持	理由 働き方や個人の生き方などが多様化しているため、「女性活躍」や「ワークライフバランス」、「男性の家事育児参画」など社会情勢に即した内容で事業を展開していく必要がある。多くの参加者を呼び込むため、周知方法を実行委員と検討しながらよりよい事業を展開していきたい。
	<36> 2次評価	所管部長	3.現状維持	理由 男女共同参画を正しく理解し、実践する人を増やすことが男女共同参画の実現につながることから、市民・事業者・定住自立圏協定市町・市職員と連携し、時代に即した内容で事業を実施し、広く意識の醸成を図ることが必要である。

## 5 Plan - 計画 -

事業の計画	<37> 実施計画	・講演会の実施 ・女性活躍推進者によるパネルディスカッション ・啓発誌による各種相談機関の紹介 ・活動団体の周知 他				
	<38> 活動・成果目標	男女共同参画社会の実現 →正しい知識を得る、男女共同参画を実践する人を増やす	<39> コスト計画	単位	令和元年度 計画	令和2年度 計画
			千円	2,958	2,958	
		事業費等	千円	334	334	
		人件費	千円	2,624	2,624	